

## 1 普及指導活動成果事例

### 耕畜連携による横浜町ならではの輪作体系の確立

～自給飼料確保と輪作体系確立を目指した耕畜連携の推進～

#### 【概要】

なたねとばれいしょの耕種部門に、畜種部門のデントコーンを組み入れた輪作体系を導入する耕畜連携組織の育成に取り組んだ。

#### 【対象名】

横浜町向平集落  
(17戸)

#### 【背景・課題】

- ・耕種部門では、堆肥投入の減少による地力低下や土壌病害が増加し、畜種部門では、飼料高騰に対応するため自給飼料確保が課題となっていることから、なたねとばれいしょの耕種部門に、デントコーンを組み入れた輪作体系を導入する必要がある。



耕種・畜産農家との現地説明会 (H21. 4. 22)

#### 【普及指導活動の内容】

- ・耕畜連携の必要性に関する現地説明会の開催。
- ・作付体系及びほ場設置等の検討。
- ・アンケート調査の実施。
- ・集落における今後の取組について検討。



デントコーン作付けほ場 (H21. 7. 16)

#### 【成果】

- ・集落単位の組織化はできなかったが、耕種農家1戸と畜産農家2戸で、1年目デントコーン、2年目ばれいしょ、3年目なたねを輪作するミニモデルが実現し、今年度はデントコーン約50tを収穫することができた。
- ・耕畜連携に関する取組の啓発を目的に、農家個別アンケート調査(24戸)を実施し、意見交換を行ったことにより、集落内で連携する気運が高まった。



耕種・畜産農家との取組検討 (H21. 12. 18)